



第一礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師
司会：安富英成執事

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「来たれイエスを」 「聞けわれらの賛美」	〃	
聖書朗読	ヨハネ4：1-30	司会	
祈禱	(新約聖書p168)	〃	
特別賛美	ラスムッセン夫妻	会衆	
賛美	217	牧師	
説教	「境界線を越えて」	会衆	
祈禱		〃	
賛美	「主イエス様の恵み」	司会	
献金		会衆	
報告		司会	
頌栄	新生672B	会衆	
祝禱		牧師	

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

第二礼拝(英語礼拝)(19:00)

説教：アルセ・エドリアン師
司会：アルセ・エゼル兄
奏楽：ラスムッセン・道姉

Come and Join us! Let's praise the Lord!
(どなたもおいでください)

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

ファミリー礼拝(9:00)

説教：比嘉盛丈兄
聖書：創世記11：1-9
メッセージ：「散らされた人々」

<巻頭言>

「2017 サミル短期宣教」

牧師 渡真利彦文

今年のサミル宣教は、3つに集約できるように思う。第1は韓国から到着した翌日から、8月17-19日の2泊3日、北山荘で行なわれた教会ファミリーバブルキャンプである。まさに沖縄の夏真ただ中で行なわれ、汗が流れ落ちる中、喉が渇き水を飲まずにはいられないキャンプだった。自然に恵まれ、参加者(約100人)に恵まれ、変化に富む集いであった。主題は「生きた命の水となる」で、ヨハネ4章を中心に御言葉が取り次がれた。

第2は日曜日(20日)にささげられた礼拝、コリアナイトであった。民族の違い、言葉の違い、文化の違いを超えて共に礼拝をささげることの豊かさを体験した。夜のコリアナイトは工夫が凝らされ、それぞれの持つ個性が生かされていた。踊り、伝統音楽演奏、ゴスペル、賛美、スキット、動画、バブルトークなど軽妙な司会も合わせて楽しく、美しく、迫力のある内容であった。キャンプ場の夜空の満天の星も見事だったが、コリアナイトも福音の夕べにふさわしい集いとなった。

第3は月曜日(21日)の午後、美里児童園から中高生10人が教会にやって来た。約1時間でしたが、ブルギを食べ、扇の舞・歌・動画・バブルトークで交流を持った。日頃家族から離れて生活する少女たちにとって、少しでも神の愛の中で過ごせたように思うなら感謝だと思った。

サミル宣教はサミル教会と胡屋教会合同の働きといえる。その背後に多くの祈りと協力、そして捧げものがあったことに感謝したい。